

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年2 月 22 日

事業所名

かけはし

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		特性に応じた居場所作りをしている。	個々に落ち着いて過ごせる場所をつくる。
	2	職員の配置数は適切である	○		利用者に応じて配置専門家のアドバイスを受けれるように配置。	基準配置を守り、専門士等今後もあるだけ必要に応じて配置する。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事業所はバリアフリー対応車椅子対応が出来ている。トイレ等サイン表示している。	目線に応じた場所に表示して行く。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		終了後は清掃、消毒等を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝礼、申し送りファイル等で確認している。	専門職員にも周知させていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート等を実施都度結果を配布、サロン等で報告している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公開。	事業所内にも掲示する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討して行く。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月一度第三金曜日に実施。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		利用時から半年毎に置くなっている。適宜必要に応じておこなう。	変化に応じてアセスメントする。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		独自の取り組みに合わせ追加している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに合わせ支援内容項目を記載している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士、指導員、作業療法士等でチーム支援を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		行事等も取り入れている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		作業療法士による個別療育を取り入れている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	○		朝の朝礼時に申し送りを行っている。	
	18	○		送迎終了後行う。	
	19	○		日々の支援記録を記載しその場で改善策等を話し合い次回に改善繋げる。	
	20	○		年2回支援会議時にモニタリング資料を基に話し合う。	
関係機関や保護者との連携	21		○		機会があれば参加します。
	22	○		学校、病院受診時に付き添い情報を頂く。	
	23	○		学校、病院受診時に付き添い情報を交換している。	
	24	○		常勤で看護師を配置、緊急時の協力病院と医療連携体制を整えている。	
	25		○		連携をとって頂けるよう訪問させて頂く環境は整備している。
	26		○		
	27	○		専門機関に来所して頂きアドバイスを受けている。。	
	28	○	○		
	29		○		地域の子ども会等に参加できるように声掛けして行く。
	30	○		いつでも柔軟に対応できるように環境整備をしている。	
	31	○		家族相談には応じている。	
	32	○		利用時に読み合わせ説明している。	
	33	○		年二回の支援会議時に説明させて頂いている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		年4回のサロン開催及び事前相談に応じています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		サロンで参加、相談の機会を提供しています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		対応する体制は整えています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページに公開。ブログでほぼ毎日活動の様子を伝えています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		職員には誓約書公開については同意書を頂いています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用時にはファイルに様子を記載させて頂いています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域に行事等の案内をしている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルについては説明、見直し研修等周知させている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年二回防災、避難訓練を実施	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		看護シートに記載。看護記録に記載。看護師により服薬管理	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	指示書はないが家族からの指示に従っています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		インシデント等ヒヤリノートに記載することになっています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修会は実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	当てはまる対応がありません。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。